

# ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」  
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ  
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

ハナ! 飛び降りないで「岩の上にも三年」お宿を持ちこたえて〜エ  
 12.16撮影



## 1 年内に畑耕す

今年は暖かい? 年越しをすると畑土も凍り、管理機などでは耕せない。白インゲンと曙大豆を丹波黒豆を収穫し、耕すことが出来た。ここには石灰類を散布せず、来春ごろにジャガイモの種芋を植える。石灰などを散布するとジャガイモの肌が汚くなるので、大豆類の種蒔く場所を年ごとに換え、そこにジャガイモを植え付け連作を避けてゆく。



↑12.15カカは白インゲン柵の豆ツルを取り解体、トトは落ち葉を集め、↓大豆屑を焼き耕す準備。



↑12.15 朝一番に野菜宅配便、ホウレン草・原木椎茸・菜の花・長芋・大根・チンゲン菜・ノラボウ・プロッコリー・ワケギ・ターサイ・玉ネギ・水菜・カブ・白菜・大葉春菊・ジャガ 仔十勝こがね・白菜キムチなど。終われば畑へ  
 ←白インゲンの柵も解体し豆屑も焼き、耕し始め、日没後に終わる。→山並み茜空に際立ち、肌寒い。



## 目次

- 1 年内に畑耕す 1
- 2 「ナナミちゃんのお宿」は? 1
- 3 原木キノコの管理 2
- 4 チョコッと骨董話し 2
- 5 十二月のお味 2

## ハイライト

冬至・次候12月26～30日「麋角解 ひかくげす」「麋」とはトナカイのような大型のシカのこ

と。全体では、大鹿の角が抜け落ちる頃という意味になるが、日本に生息する鹿の角が抜け落ち、新しいものが生えてくるのは、実際にはもう数ヶ月先の春を迎えてからである。古来、シカの角は鹿茸と呼ばれ、薬として珍重されてきた。それは、伸び始めた幼角(袋角)を乾燥させたものに限られた。滋養強壮、強精、鎮痛の効果があるとされ、実際にも生殖機能低下や不妊症の治療薬として使われている。また成長をした角にも! ナニ〜ィわが家にも鹿角が2本!! これに沢蟹とマムシの黒焼きを混ぜてすり潰す!! 畑に沢蟹も道にマムシも出てくる、来年こそは!!・・・ななに?オデキや腫物に効能有り・・・



12.17木々には枯葉がわずかに。これも18日の風で散って裸に!!

## 2 「ナナミちゃんのお宿」

12月はグリーンピースとササゲに曙大豆などを炊き込んだ豆ご飯。白米だけのご飯はお出ししていません。完熟豆のグリーンピースはホックリと、シッカリしたササゲ豆はお赤飯で、豆の旨味のご飯に吸われツヤツヤ曙大豆ご飯に。新生姜と挽肉で食欲そそる、生姜ご飯もお出ししました。

→12.14お宿前の木々も落葉、ウサギの耳のようなフアンネルソウの葉だけが庭で目立つ



←12.14カカは夜なべ仕事で曙大豆の選別  
 →曙大豆を炊きこんだ  
 →甘みかんじろ大粒大豆と大豆丸ごと旨味しみ込んだ曙大豆ご飯がランチに

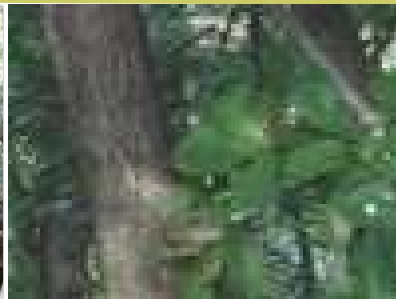


えてくるのは、実際にはもう数ヶ月先の春を迎えてからである。古来、シカの角は鹿茸と呼ばれ、薬として珍重されてきた。それは、伸び始めた幼角(袋角)を乾燥させたものに限られた。滋養強壮、強精、鎮痛の効果があるとされ、実際にも生殖機能低下や不妊症の治療薬として使われている。また成長をした角にも! ナニ〜ィわが家にも鹿角が2本!! これに沢蟹とマムシの黒焼きを混ぜてすり潰す!! 畑に沢蟹も道にマムシも出てくる、来年こそは!!・・・ななに?オデキや腫物に効能有り・・・

「皆様には来福を祈念」

### 3 原木キノコの管理

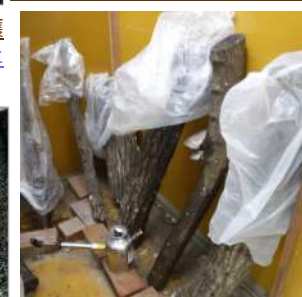
母屋裏の林は傾斜地、雨水タンクから水を汲み原木に散水などの管理は力任せ。原木キノコは春と秋に発芽しますが、冬と夏の間は乾燥を避け日除けネットで覆い、10月になれば原木を並び替えたり、水遣りなどの管理が欠かせない。ナメコや椎茸が採れ始め、11月には平茸も採れ、天然キノコのムラサキシメジも採れた。12月は暖かな日もあり、カカはキノコ育成室や日当たり良い場所で椎茸原木を育てています。



←倒れた原木を並び直し\カカは水遣り ↑10.28ナメコ収穫  
↓11.23キノコ育成室で原木椎茸が育つ ↓12.01椎茸が育つ



←11.12平茸を収穫  
↓11.02畑で採れた  
ムラサキシメジ裏側



### 4 チョッコと骨董話し

\*店内の商品には値段が表示、無い物は聞いてネ

「70歳半ばを過ぎてくると購買意欲が減ってくる!! 持ち家の地震・風水害などの保険特約、病気などの保険見直しなど、老後の安定した生活にシフトを・・・」の記事を読んで納得の私。確かに11,12月と骨董店で何も買っていない、購入意欲がなくなってしまった? 指折り数え後少しだな・・・と。



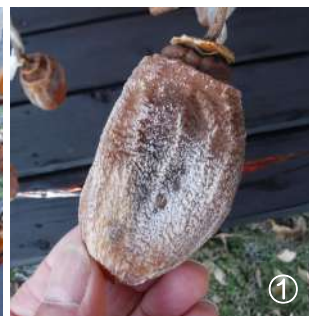
毎月2週間だけ開店する骨董店「アンティーク冬花」に毎月1度は訪れ、お気に入りの品を手に取り、人の好い店主ご夫婦と世間話など、お喋りを楽しむ。良きかな田舎暮らし。

↑国道141号線 須玉ICより北上し岩根橋東 信号の左側 ↑キャラクターグッズや可愛い系の小物 → 薬瓶やポマードなどの空き瓶 → 蕎麦猪口は江戸中期から後期、明治の物が陳列



↑レトロな灯りに照らされた錫マグカップ。他にも色々。

### 5 十二月のお味



渋柿を11月8日に収穫、翌日に渋柿の皮を剥きヒモに吊るし熱湯へ。一晚風乾しておいた柿を、10日の朝に硫黄燻蒸をしてナナミちゃんのお宿縁側に吊るし。渋柿を収穫してから二ヶ月ほどで、干し柿が出来上がった。去年は天候不順での不出来に比べ、数は少ないが今年はマズマズの味に。

↑12.03一回目の干し柿揉み作業。①12.13白く粉がふいた干し柿を外し、②ザルに並べる。③12.16干してあった柿を全て外し、柔らかな干し柿を並び外縁側に干す。ハナが見張り役に?

